



## 庭の生き物を楽しむ

日本鳥類保護連盟富山県支部 長谷川 覚



(餌をねだるヒヨドリの幼鳥)

我が家の庭は、(公財)日本鳥類保護連盟で提唱しているバードピアに登録しています。バードピアとは、庭などをいろいろな生きものが住める場所とし、特に鳥達に利用してもらう野鳥の楽園にする活動です。

バードピアのルールは、

- ① 除草剤や防虫剤、薬品の使用は極力ひかえる。
- ② 鳥だけでなくバードピアに集まる生きものすべてを大切にする。
- ③ 植栽は出来る限り在来の草木を選ぶ。

となっています。

私も害虫は手で除去したり、アゲハチョウの幼虫はユズの木からサンショウの木に移す等できる限りルールを守るように心がけています。(但し除草剤は何回か使用します。)その為か、我が家の庭はファボーレの近所の住宅地ですが、多くの生きものを見る事が出来ます。特に楽しみは野鳥たちの子育てで、春にはスズメ、オナガ、モズ、ヒヨドリなどが子供を連れて訪れてくれます。その親子の姿は、観察している私の心を和ませてくれます。

5年ほど前から庭の生きものの写真を撮っていて、この写真を編集し、今年8月に地元の長寿会が主体のいきいきサロンで「庭の生きもの達」と題して紹介しました。紹介した内容は野鳥が18種、蝶が10種、両生類他が2種、その他を含む39種でした。皆さん、よく見かける鳥や蝶でも名前を知らない方が多かったようです。

生きものの名前や生態を知っていると観察も楽しくなります。昨年はアゲハチョウの産卵から成虫になるまでを飼育箱で観察し紹介しました。幼虫の脱皮やサナギへの変態など興味ある写真が撮れました。特に飼育箱から逃げ出した幼虫が、ある日テーブルの下でサナギになっていました。何とそのサナギの色はテーブルの色に似た茶色の保護色になっており、生きものの不思議にビックリでした。



(テーブルの下で蛹になったアゲハチョウ)



(足環を付けたシロハラ)

また、四季を通じて野鳥も沢山姿を見せま

す。特記は冬鳥の足輪を付けたシロハラが平成25年と26年に姿を見せたことです。このシロハラは平成24年の秋に、婦中町にある観察ステーションで足輪が付けられたそうです。このことからこのシロハラは婦中町付近で越冬していると考えられ、北日本新聞にも紹介されました。今年の冬に又会えるのを楽しみにしています。

皆さんも身近な庭をよく観察してみませんか。生き抜く為の不思議に感心することでしょう。

## ジュニアナチュラリストの広場

### 有峰の自然を探る・アサギマダラのマーキング調査

ジュニアナチュラリスト 鷲本 彰子さん

アサギマダラのマーキングは三つの班に分かれて活動しました。

私の班では、長野県上村でマーキングされたものが見つかりました。他の県でマーキングされたアサギマダラが見つかるのは、とても珍しいことだと聞いたので、それを見ることができ、とても嬉しかったです。また、先日、有峰でマーキングされたものが石川県の白山で二頭見つかったと聞き、改めてアサギマダラの飛行能力に驚きました。

私のマークしたアサギマダラがどこかで見つかるといいなあー。



9月6日（土）に行った「有峰の自然を探る」には、10人のジュニアが参加しました。天気に恵まれ、148頭のアサギマダラにマーキングすることができました。

### 夜の昆虫大探検PART 2

ジュニアナチュラリスト 酒井 陽菜さん



この時期に生息する昆虫について講師の方から話を聞いた後、夜の森へ虫探しに出発。四方八方から虫たちの鳴き声が聞こえます。鳴き声のする方へ姿を探すが、あいにくの雨上がり後のためなかなか発見できず、蛾やクツワムシを見つけてもすぐに暗闇に消え、すこし残念な観察会であった。

折り返し地点で道中頼りの懐中電灯を皆で消すと、綺麗な星空と富山の夜景が見える絶景を体感しつつ展示館へと戻った。

今回は観察できた虫の数こそ少なかったが、辺りから聞こえる虫たちの多重な鳴き声のハーモニーと、美しい星空や夜景にも魅了された初秋のまたとない観察会となった。

## 活動のふりかえり

### 〈竹細工とヘイケボタルの観賞〉 平成26年6月28日, 7月5日, 7月12日



6月28日が雨だったにもかかわらず、3日間で200人を超える参加者がありました。

暗くなるまで竹細工を楽しんだ後、ヘイケボタルのほのかな光を求めて水生庭園を散策しました。



### 〈トンボの調査と標本作り〉

平成 26 年 7 月 26 日

暑い夏の日、夏休みの宿題支援として、22名の参加で実施しました。  
子ども一人に2匹までトンボを捕り、生態の観察をした後標本作りに汗を流しました。



説明を聞いた後、



いざ、トンボ捕り



真剣に標本作り

### 〈夜の昆虫大探検PART 1〉 〈PART 2〉

平成 26 年 8 月 9 日

平成 26 年 9 月 13 日



(オオミズアオ)

(PART1) 前半は木工細工。木と竹枝を使ってカブトムシやクワガタを作りました。  
後半は虫トラップの回収、ライトトラップに集まる昆虫の観察を行いました。あいにくの雨で気温が低く、虫トラップにはほとんど入りませんでした。ライトトラップではオオミズアオやヤママユなど大型の蛾が来てくれました。



(PART2) 秋の鳴く虫の観察をおこないました。アオマツムシの大合唱のなか、クツムシやコオロギの♪♪♪秋の夜長を鳴き通す♪♪♪鳴き声を観賞しました。空には満天の星。平地では珍しく天の川も薄っすらと見ることができ、楽しい夜でした。

### 〈白木峰の植物観察〉

平成 26 年 9 月 21 日

(生き物ふれあい自然塾の会主催)



(青空に映えるナナカマド)

白木峰へは、5年前、家族4人で登山をしたことがありました。時期は、ニッコウキスゲが咲く夏期でしたが、ニッコウキスゲを見るくらいで、他の植物を見ることもせず、子供たちに教えることもできず、登山が目的だったような気がします。

自然の中で遊ぶことが中心だった我が家でしたが、最近、自然の中で学び、守るという趣旨に変わってきました。今回、植物観察会に参加して、成長した子どもたちと一緒に、貴重な植物を教えて頂きました。教えて頂いた植物の「シラヒゲソウ」は、以前に八郎坂を登った時に見つけましたが、また出会うことができるとは思ってもいませんでした。植物の

生育場所としては、立地条件が白木峰の方が合っていたことを知りました。でも、その「シラヒゲソウ」を「キレイ、可愛い、珍しい」と思われたのか、心無い人が根こそぎ採取した後がありました。子どもたちには、このようなことはしてはいけないこと、また、富山にある動植物を守っていくことを教える機会となりました。植物を覚えることは、なかなか出来ませんが、せめて貴重な植物を覚え、大事にしていければと思います。

これからも、家族で自然観察会に参加し、自然について語っていただけると嬉しいです。参加させていただき、ありがとうございました。



(シラヒゲソウ)

(藤堂 真由子)



## ネイチャーフォト展で展示する写真を募集します。

テーマ : ① 風景, 植物, 動物など富山県内の自然を対象としたもの  
② ねいの里の活動を紹介したもので、未発表のもの。

サイズ : ワイド四つ切り

締切 : 11月15日

提出先 : 自然博物館ねいの里

展示期間 : 平成26年11月26日～平成27年3月30日



※電子データでねいの里のメールアドレスにお送りいただければ、こちらでプリントして展示いたします。ただし、この場合、写真の著作権のねいの里での使用について承諾していただくことになります。

## ねいの里行事案内 (ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 10月13日(祝) 10:00～12:00  
キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ 場所 ねいの里 (300食 要予約)
- 11月3日(祝) 9:30～15:00  
巣箱づくりと公園街道を歩く 集合場所 古洞の池 (巣箱作りの定員 30組)
- 11月9日(日) 10:00～15:00  
植物写真ワークショップ (いがりまさしさん) (生き物ふれあい自然塾, ねいの里 共催)  
場所 ねいの里 (定員 20名)
- 12月7日(日) 9:30～12:00  
クリスマスリース作り 場所 ねいの里 (生き物ふれあい自然塾主催)
- 1月4日(日)～6日(火) 9:00～17:00 (4日は13:00～)  
「春の七草」頒布会 場所 ねいの里 (200セット 要予約)

(参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。)

### ■ 特別展示

9月3日～11月24日 ねいの里キノコ写真展  
11月26日～3月30日 ネイチャーフォト展  
12月10日～1月19日 春の七草実物展



### ■ お願い ■

- 「生き物ふれあい自然塾の会」会員募集中  
皆さんのお知り合いで、ねいの里をよくご利用される方がおられましたら、自然塾の会への入会をお勧め下さい。会員の方にはねいの里会報「ふくろう通信」をお送りします。
- 会員の駐車場利用について  
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラルリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏  
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1  
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp  
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>